



ZENGA

休館日：毎週月曜日/10月16日・23日・30日

11月6日・13日・20日と祝日の翌日/11月24日(金)

開館時間：午前9時～午後5時（入館は4時30分まで）

入館料：一般300円(240円)／小中学生100円(80円)

※()内は10名以上の団体料金

※65歳以上の方及び障害者の方は無料

※第2、第4土曜日は小中学生は無料

主催＝渋谷区立松濤美術館

協力＝日本航空 企画協力＝浅野研究所

講演会：10月21日(土) 午後2時より

「白隠の絵－力とユーモア」多摩美術大学学長 辻 惟雄

渋谷区立松濤美術館

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14 電話 3465-9421

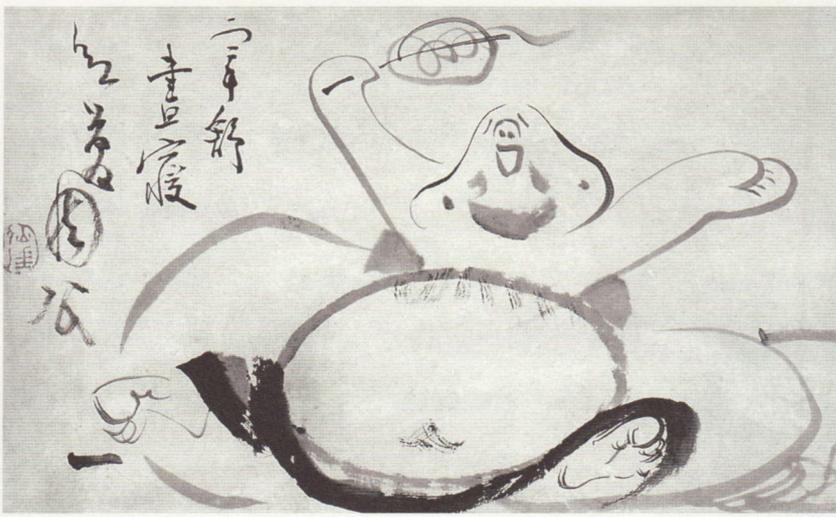
JR渋谷駅下車徒歩15分 京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分

特別展 ZENGA 帰ってきた禅画

－アメリカ ギッター・イエレン夫妻コレクションから－

2000年10月10日(火)～11月26日(日)

Zenga Exhibition From the Gitter-Yelen Collection



①

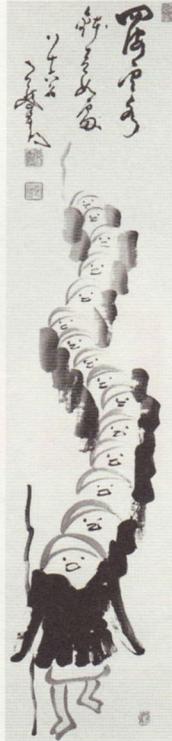
白隠をはじめとする江戸時代の禅僧たちは、布教のために禅の精神を形にすべく、大胆でナイーブな書画を描きました。戦後欧米でおこった<禅=ZEN>ブームの中で、各地にそれらのコレクションが形成されますが、中でも現在ニュー・オーリンズに在住するカート・ギッター氏は、陸軍の軍医として日本に滞在したのをきっかけに日本美術に深い関心を持ち、日本人には過小評価されがちであった禅画の蒐集に努めました。そのコレクションは、禅画の流れを決定づけた近世禅の巨人・白隠を中心に、明治に至るその門下の作品を中核とする系統性と、まとまった規模を誇るもので、日本にも希な優品が集められています。

この展覧会は、ギッター・イエレン財団コレクションの初の里帰りを機に、国内の寺院や美術館等が所蔵する傑出した白隠の書画を合わせた100点あまりを展示して、禅画の魅力を紹介するものです。

専門的な絵画教育を受けていないからこそ生み出された、禅僧の大胆でナイーブな造形は、欧米の人々の好奇心と純粋な眼を魅了してきました。20世紀の末年に当たり、欧米の人々によって見出された美意識を逆輸入することによって、日本文化に対してより相対化されたまなざしを注ぐことは、大きな意味を持つでしょう。



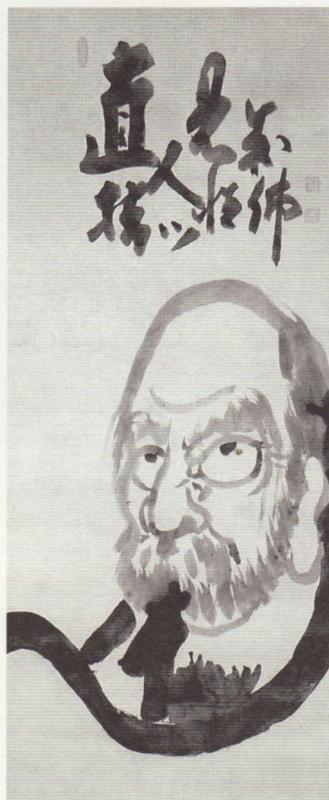
②



③



④



⑤

表面 南天棒 半身達磨

- ① 仙厓 布袋
- ② 南天棒 雲水托鉢
- ③ 白隠「恵」
- ④ 物外 達磨
- ⑤ 白隠 達磨

ZENGA

●ギャラリートーク

11月1日(水)午後2時より
当館学芸員 矢島 新

●美術相談

10月15日(日) 講師 遠藤原三
(油彩)、水野道子(水彩)

11月5日(日) 講師 西嶋俊規
(油彩)、戸田康一(日本画)

●美術映画会

10月28日(土)「日本の美 滲みの感覚」「日本の美 光と影」

11月25日(土)「近世異端の画家・蕭白—江戸悪趣味の美」

「唐招提寺への道—山雲濤声」

